

## 申7号

# 「盛岡支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について（その4）」に関する申し入れ

## 本日提出！

盛岡地本は12月19日に「盛岡支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について（その4）」の提案を受け、組合員との議論を行ってきました。本施策は、「青森営業統括センター」「気仙沼統括センター」「北上営業統括センター」「盛岡営業統括センター」「八戸営業統括センター」に続く設置であり、社会の急速な変化を踏まえ、グループ経営ビジョン「変革2027」の目指す「鉄道起点のサービスからヒト起点のサービスへの転換」に向け、システムを超えて新たな価値の創造を一層推進していく観点から、社員一人ひとりの成長意欲に応え、活躍フィールドを拡大させていくことを目的に現業機関を新設することを目的としています。さらに、盛岡支社初の乗務員職場と営業職場の融合職場となり、職場では不安の声が渦巻いています。さらに現在実施されている各営業統括センター、統括センターでは、柔軟な働き方をめざして組合員・社員が施策を担い、職場で奮闘していますが、働き方や教育の視点等、課題がある中での新たな現業機関の設置であり、職場からは不安の声が多く寄せられています。

その声を踏まえて申し入れを提出しました！

## 要求項目

1. 本施策を実施する目的と、一ノ関統括センターを新設するに至った経緯とメリットを明らかにすること。  
また、本施策によってどのようにモチベーションが向上するのか明らかにすること。
2. 一ノ関統括センターにおける「融合」「兼務」「連携」の考え方を明らかにすること。  
また、一ノ関統括センター内に発足されるユニット名とそれぞれの業務内容を明らかにすること。
3. 一ノ関統括センター新設に伴う業務に必要な教育内容、スケジュールを明らかにすること。  
特に教育に関して駅社員が乗務員の業務を行う場合には、津波避難誘導教育を全員に実施すること。  
また、業務に必要な要員は確保すること。
4. 一ノ関統括センター新設に伴う通勤の考え方を明らかにすること。
5. 働き方のイメージを日及び時間単位で明らかにすること。また勤務作成時の指定方法を明らかにし、前泊を前提としないこと。
6. 一ノ関統括センターのフロアの活用方法を明らかにし、個人用ロッカーの設置箇所と更衣時間の考え方を明らかにすること。
7. 各手当と調整点数の整理方について明らかにすること。
8. 施策説明については継続して社員の声を把握し、質問にはしっかり返す体制を構築すること。
9. 施策に伴う面談等を行い、本人希望を把握し考慮すること。
10. 駅業務を行っている「動力車操縦者運転免許」保持者は、業務融合における職場の核となり得るため、本人希望を考慮し、適性検査を受検させ乗務する機会を増やすこと。
11. 鉄道の安全を守るために乗務前の駅業務や企画業務等は行わせないこと。